

人のかかわりをつなぐ総合単元 構成図 I

教科・総合的な学習の時間	道徳の時間	特別活動・行事等
<p>「三年とうげ」(国語)</p> <p>「アンニョンハセヨハング」(総合)</p> <p>1. 韓国への興味・関心をもつ。 (1) 韓国について知っていることを出し合う。 ・地理・言葉・食べ物・衣服など (2) 韓国と日本の食べ物にふれ、学習課題をつくる。</p> <p>学習課題 韓国と日本の文化のよさやちがいをさぐる。</p> <p>2. 韓国にはどんな文化があるのか調べ、調べたことを出し合い、体験する内容を決める。</p> <p>3. 日本と韓国の文化について、GT の話を聞いたり、体験したりする。 (1) 言葉・礼儀・衣装など (2) 伝統的な楽器・和太鼓など</p> <p>4. GT の話や体験の中から、追究したい課題を決め、課題別に調べる。 (1) 調べる内容や方法に従って、各自調べ学習に取り組む。 (2) GT に話を聞いたり、一緒に体験する。</p> <p>5. 課題別それぞれの文化のよさを出し合う。</p> <p>6. GT の方々の思いや願いについて考えをまとめる。 (本時)</p> <p>7. GT へ自分たちの思いを伝える。</p> <p>8. これからの韓国小との交流について考え、行動する。</p>	<p>自分の国を大切にする心 4-(6) 愛国心 「のりのおにぎり」</p> <p>友だちを理解し、互いに信頼する 2-(3) 友情・信頼 「韓国から友だちが来た」 (本時)</p> <p>韓国から来る友だちへの思いやり 2-(2) 思いやり・親切 「日本の小学校へ交流に行って」 (本時)</p>	<p>昨年度の韓国初等学校 歓迎式(裁量)</p> <p>今年度の韓国初等学校 訪問団報告会(裁量)</p>

第3学年総合的な学習の時間学習活動案

1. 単元名 「アンニョンハセヨ ハング」

2. 単元づくりの考え方

○ こんな子どもだから

本学年の子どもたちは、2年生の時に韓国の初等学校との交流を体験している。しかし2年生では、全体会での挨拶や出し物の交流のみで、教室で一緒に過ごしたり遊んだりする交流までには至っていない。3年生では1学期に、国語で韓国の民話「三年とうげ」を学習しており、韓国に親しみを感じている。最近の韓国ブームの中で、韓国の食べ物や有名人等については情報も豊富で、知識も豊かである。しかし、マスメディアを通しての知識が多く、韓国の人と話したり、触れ合ったりする事を通しての心の通い合いは十分に出来ていない。そのため、互いの文化を分かり合い、それぞれのよさを大切にしようという思いまでは深まっていない子どもたちが多い。

○ こんな単元で

韓国は、異文化理解を図る上で地理的に最も近い国である。また☆☆小は◇◇初等学校と姉妹校であること、本校にも韓国の子がいること、地域にも韓国の方が住んでいることなど、子どもたちにとって最も身近な国とも言える。韓国について学ぶことは、次のような価値があると考えられる。

○ 人とのかかわりから

地域に住む韓国の方をゲストティーチャー（GT）として迎え、子どもたちの追究課題にそって質問したり、教えてもらったりする活動を位置付けている。GTから韓国の風習や伝統文化について学ぶ中で、「韓国の文化を大切にしてほしい。」「韓国と日本が仲良くなってほしい。」等の思いや願いに触れ、自国を大切に思う心に気づかせることができる。さらに、韓国の方が日本の文化を学ぼうと努力されている姿や、日本の和太鼓など日本の文化を大切に受け継いでいこうとされている日本のGTとの出会いを通して、お互いの文化を認め合い、理解し合うことの大切さに気付かせることができる。

○ 小中連携から

中学校でも海外からきた生徒がおり、異文化に触れる機会も多い。また、自分達とは異なる者を排除しようとする心はいじめにもつながる。そこで、小学校においてGTとの関わりの中で異文化を理解し、認め合う心を育てることは、中学校生活において共生の態度を身につけ、望ましい人間関係を築いていく上でも意義深いと考える。

○ こんな指導・支援で

そこで本単元では、まず課題意識をもたせるために、韓国の初等学校の交流作品などに目を向けさせ、身の回りに韓国があることに気付かせる。さらに、韓国と日本の文化のちがいやよさに気づかせるために、韓国と日本のGTにちがいやよさについて話をさせていただく。その際、GTの思いや願いに気付くことができるように、話していただく内容を事前に打ち合わせておくとともに、学習の中でも教師が意図的に助言する。また、子どもたち全員がGTの思いや願いを共通なものとして受け止めることができるように、「食べ物」「言葉・礼儀・衣装」「伝統的な楽器」の全てを全員に体験させる。そして、その中から意欲をもって追究できる課題をしっかりとらせ、GTに質問したり、ふれあったりできる場を設定する。最後に、これまでのGTとのふれあいをふりかえり、「韓国と日本の文化を大切にしてほしい。」などの思いに気付かせ、お互いの文化を大切にすることで、心が通い合う喜びを感じることができる話し合いの場を設定する。

○ こんな子どもをめざして

- 日本の小学校が韓国の初等学校と交流していることをもとに、韓国について興味をもち、自分の課題をもって意欲的に追究活動に取り組むことができる。
- GTの話を聞いたり、一緒に活動したりする中で「韓国と日本の文化を大切にしてほしい。」「韓国と日本が仲良くなってほしい。」などの思いや願いにふれ、自国を大切に思う心に気付く。
- 韓国と日本の文化のちがいや共通性・よさに気づき、お互いの文化を大切に、心が通じ合うことの喜びを感じることができる。

3. 学習活動の展開と支援計画（26時間）

配時	学習活動と内容	支援・指導の工夫と留意点（※評価の規準）
3	<p style="text-align: center;">道徳「のりのおにぎり」</p> <p>1. 本校が韓国の学校と姉妹校であることから、韓国への興味・関心をもち、学習課題を作る。</p> <p>(1) 韓国について知っていることを出し合う。①</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地理・言葉・食べ物・衣服など <p>(2) 韓国の代表的な食べ物であるキムチを食べ、日本と違う食文化に触れ、学習課題を作る。②</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 味は違うけれど、保存食ということでは日本の漬け物と同じ。 ○ キムチは臭いが強く辛いけれど、体によい。 ○ 家庭の味が受け継がれている。 <p>学習課題</p> <p style="text-align: center;">韓国と日本の文化のちがいやよさをさぐる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道徳で、自国文化に自信をもって大切にしようという気持ちをもたせておく。 ○ 関心を高めるため事前にアンケートをとり、昨年初等学校を迎えた事を想起させる。 ○ G Tの方に、韓国の食べ物キムチと日本の食べ物漬け物に対する思いを伝えてもらう。 ○ G Tの話から、キムチと漬け物のちがいやよさについてまとめ、学習課題へつなぐ。 ○ G Tの思いが伝わるように、事前に打ち合わせをしておき、G Tの思いなどが書き込める学習プリントを準備しておく。 ※ 韓国と日本の文化のちがいやよさをさぐるようとしている。
2	<p>2. 韓国にはどんな文化があるのか調べ、調べたことを出し合い、体験する内容を決める。②</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 調べる時に、補足資料を準備しておく。
4	<p>3. 日本と韓国の文化について、G Tの話や体験を通して、互いの国のちがいやよさをさぐる。</p> <p>(1) 言葉・礼儀・衣装などについて ②</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 正月や行事の時に着る民族衣装。 ○ 年長者に対する尊敬の念など <p>(2) 伝統的な楽器、チャンゴ・☆☆太鼓について②</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ どちらも昔から大切に受け継がれてきた。 ○ お祭りの時などに演奏され、人々の心を癒してくれるなど 	<ul style="list-style-type: none"> ○ G Tの思いが伝わるように、事前に打ち合わせをしておく。 ・始めることになったきっかけ ・自国の文化を大切にしていること ・どんな思いや願いで取り組んでいるか ○ G Tの思いや教えていただいたことなどが書き込める学習プリントを準備する。 ※ 韓国と日本の文化のちがいやよさをさぐるようとしている。また共通性にも気付いている。
10	<p>4. G Tの話や体験の中から追究したい課題を決め、課題別に調べ、体験する。</p> <p>(1) 調べる内容や方法に従い、各自調べ学習に取り組む。（食べ物、伝統楽器、言葉・礼儀・衣装など）④</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 図書の本・総合図書館の本・インターネット・家にある資料などを活用する。 <p>(2) G Tの話や体験を聞き、一緒に体験したりして、G Tとのふれあいについて振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 調べて分からなかった事をG Tから教えていただく。④ ○ G Tとのふれあいについて振り返る。② 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 調べる資料を課題別に準備しておく。 ○ 3つの課題別の中で、日本と韓国それぞれについて調べるようにする。 ※ 課題に沿って資料を選択し、意欲的に調べることができている。 ○ G Tに教えていただきたいことを事前に調べる段階でまとめておくようにする。 ○ 互いの文化のちがいやよさ、G Tとのふれあいで心に残っていることを課題別ごとに整理させておく。 ※ 意欲的に課題を追究しようとしている。
1	<p>5. 課題別ごとに文化のちがいやよさを出し合う。①</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前時に課題別に整理しておいた子どもたちの考えを把握しておく。
1	<p>6. G Tの方々の思いや願いについて考えをまとめる。 (本時) ①</p>	<ul style="list-style-type: none"> ※ 互いの文化を大切に、心が通じ合うことの喜びを感じることができる。
1	<p>7. G Tの方々へ自分たちの思いを伝える。 ①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例・・・G Tの方へ手紙を書いて伝えたい。など 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道徳「韓国から友だちが来た」で、互いを認め合う事の大切さについて考えさせる。
4	<p style="text-align: center;">道徳「韓国から友だちが来た」</p> <p style="text-align: center;">道徳「日本の小学校へ交流について」</p> <p>8. 今後の◇◇小との交流について考え行動する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例・・・今年の訪問団に自分たちの思いをたくすなど ④ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道徳「日本の小学校へ交流について」で、交流で大切な事は何かを考えさせる。 ○ ○○先生に話をさせていただくようにする。

第3学年本時学習活動案(21/26)

1. 本時のめざす子どもの姿

- これまで出会ったG Tの「日本の文化・韓国の文化を大切にしてほしい。」「日本と韓国が仲良くなしてほしい。」といった思いや願いに気付くことができる。
- お互いの文化を大切にし、心が通じ合うことの喜びを感じることができる。

2. 本時の支援・指導にあたって

- 本学級の子どもたちは、前時までに日本と韓国の「食べ物」「言葉・礼儀・衣装」「伝統的楽器」について共通体験した上で、課題別グループごとにG Tにインタビューしたり、体験したりして互いの文化のちがいやよさについて気付いている。また、G Tの方々が自分たちのために一生懸命に教えたり、そのための準備をしたりしている姿にふれ、感謝の気持ちをもっている。また、各課題別グループごとに、これまでのふれあいで心に残っていること、嬉しかったことについて振り返り、G Tの方々の熱心さにも気付いている。
- そこで本時はまず、それぞれの文化のよさを再度振り返った上で、めあて「これまで教えてくださった先生方には、どのような思いや願いがあったのか考えよう。」を提示する。次に、各課題別ごとに、それぞれのG Tの方とのふれあいの中から心に残っていることと、その時のG Tの思いや願いについて考えたことを発表させる。そして、どのG Tの方々も「自分の国の文化を知ってほしい。」「日本と韓国が仲良くなしてほしい。」「愛国心（自分の国を大切に思う心）」といった共通の思いや願いがあることに気付かせていきたい。さらに、G Tの方からの手紙を紹介し、それを読んだ時の自分たちの気持ちも発表させることで、お互いに嬉しい気持ちになり、心を通い合わせることができることに気付かせていきたい。

3. 準備

- (教師) 追究活動をしているときの写真資料
韓国のG Tの方が、子どもとのふれあいの中で嬉しかったことや、日本文化を学んでいることが書かれた手紙
本時の学習についてのまとめを書く学習プリント
- (子ども) これまでの学習の足跡を残した☆☆タイムのファイル

4. 本時の展開

学習活動 と内容	支援・指導の工夫と留意点 (※評価の規準)
<p>1. 前時を振り返り、韓国と日本のそれぞれの文化のよさを再度確認する。</p> <p>2. 本時の学習のめあてを確認する。</p> <p>めあて</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>これまで教えてくださった先生方には、どんな思いやねがいがあったのか考えよう。</p> </div>	<p>○ 前時をすぐに振り返れるように、総合学習のファイルを活用するとともに、韓国と日本の文化のちがいやよさについての掲示物をはっておく。</p>
<p>3. めあてに関する自分の考えを発表し合う。</p> <p>心に残ったこと</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>・わたしたちのために資料や道具を準備してくださった。 ・〇〇について熱心に教えてくださった。 ・〇〇をととても大切にしている。</p> </div> <p style="text-align: center;">→</p> <p>GTの思いやねがい</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>・自分の国の文化を知ってほしい。 ・日本と韓国が仲良くなっ てもらいたい。 ・愛国心（自分の国を大切に思う心）</p> </div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>どのGTの方々も、同じ思いや願いがある。</p> </div>	<p>○ これまでの活動を振り返られるように、総合学習のファイルを活用するとともに、GTとふれあっている写真を掲示しておく。</p> <p>○ 道徳の学習を想起できるように、学習の足跡を掲示しておく。</p> <p>○ これまでのふれあいで心に残っていること、嬉しかったことについて振り返ることで、GTの熱心さに気付かせる。その上で、そこにあるGTの思いや願いについても考えさせる。（事前に課題別ごとに、学習プリントに自分の考えをまとめさせておく。）</p> <p>※ GTの思いや願いに気付いている。</p>
<p>4. GTの方の手紙を読み、読んだ時の気持ちを発表する。</p> <p>(1) ふれあいの中でGTが嬉しかったことを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ みんなが韓国のことを一生懸命勉強してくれたこと。 ○ みんなと仲良くなれたこと。（韓国と日本が） ○ みんなが韓国のことを好きになってくれたこと。 ・自分たちが一生懸命韓国のことを学習して、よろこんでもらえてうれしい。など <p>(2) 韓国のGTの方も日本の文化を一生懸命学んでいることを知り、お互いの気持ちが通じ合うことの喜びを感じる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の文化も大切にしてくれて嬉しいな。 ・頑張って勉強してくれて嬉しいな。 ・今、自分たちとGTの方々は、心が通じ合っていないかよした。 	<p>○ GTからいただいた手紙を途中まで紹介し、GTが子どもたちとふれあった中で、嬉しかった気持ちを伝える。</p> <p>○ それを読んだ時の自分たちの気持ちを発表させる。</p> <p>○ 手紙の続きを読み、韓国のGTが自国の文化だけでなく、日本の文化も知ろうとしていることを伝える。</p> <p>○ それを読んだ時の自分たちの気持ちを発表させる。</p> <p>○ 嬉しいという気持ちを強調し、お互いの文化のよさを大切にしていけることが、お互いに嬉しい気持ちになり、心が通じ合うことを確認していく。（キムチの時のことを例にあげ、相手の文化を理解できないとお互いにいやな思いをすることにもふれておく。）</p>
<p>5. 「今日の学習で」を書き、発表する。</p>	<p>※ 自分の国の文化も、相手の国の文化も大切にしていきたいという思いが書けている。</p>